

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 10 月 7 日作成 第 2.0 版

研究課題名	食道癌手術後の異時性胃癌（胃管癌）に対する全国実態調査
研究の対象	2001 年 1 月 1 日～ 2015 年 12 月 31 日に、食道癌手術後に胃管癌の診断を受けた患者さんが対象となります。
研究目的 ・方法	食道癌の手術では、食道を切除したあとに胃を持ち上げて再建することが一般的です。近年、手術後の胃に胃癌が見つかることが増えていますが、全国的な調査は行われておらず、治療法や治療成績などの実際はよくわかっていません。 食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設からデータを集積して、解析することにより、食道癌手術後の胃癌に対する治療成績の向上を図ります。
研究期間	西暦 2020 年 7 月 17 日 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	診療記録から以下の得られたデータを集めて解析します。 治療前情報：①年齢・性別、②食道癌に対する手術術式、③食道癌の病理組織学的因子、④手術から診断までの日数とフォローアップの方法・頻度、⑤胃管癌の発見の契機と診断法、⑥H. pylori 保菌状態、⑦喫煙歴、飲酒歴、⑧胃管癌の部位（、肉眼型、組織型、治療前進行度、⑨他臓器の重複癌の有無および時期 治療情報： ① 治療法、②非切除治療の内容、期間、③内視鏡的切除の場合の術式、④外科的切除の場合の手術術式、補助療法の有無 治療後情報： ① 胃管癌の組織型、②治療中/後の合併症、③転帰・最終確認日、④再発の状況
外部への 試料・情報の 提供	電子データ化したファイルは、誤流出防止のためにパスワード管理を行いながら、日本食道学会事務局内のウイルス対策のされた PC 上でのみ管理します。 研究終了後には本研究で集めたデータおよび解析後のデータは、研究責任者が鍵のかかる金庫に保管し、研究終了後 5 年の時点で全てを復元不可能な形で破棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	外部からの資料・情報を取得することはありません。
研究組織	特定非営利活動法人日本食道学会事務局 食道学会研究推進委員会

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科（研究責任者）國崎 主税

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-9492

特定非営利活動法人日本食道学会事務局

食道学会研究推進委員会 籾 也寸志